

ICTで授業をDX!

学年 中学校1年 教科 国語 など

Googleアプリ・ロイロノートで共同作業・意見交換

使用するアプリケーション等
・Googleドキュメント
・ロイロノート

単元・題材 情報を読み取ろう

本時の目標 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。

ICTを活用することでできること

- Googleドキュメント（レポート）の共同編集
 - ・情報を共有しながら作業を行うことで、自分とは異なる考えを即座に反映することができる。
 - ・紙ベースで行っていた作業時間（話し合いながら書く、消すなど）が減り、コミュニケーションをとる時間が増える。
- ロイロノートによる意見交換
 - ・複数の意見を、各自の画面で同時に見比べることができる。
 - ・グループで意見交換をする際に、プリントを回したりする時間が減り、コミュニケーションの時間が増える。

DX前（ICTを使っていなかった頃は・・・）

1 導入

- ① 前時に使用したプリントを見ながら、新聞広告を分析する観点を整理・復習する。
本時の目標を確認する。

2 展開

めあて 新聞広告に用いられている工夫について考えよう。
学習活動 分析の観点に沿って新聞広告を分析し、気付いたことをグループで共有し、レポートにまとめよう。

- ① 新聞広告を分析する。
 - プリントに自分の考えをまとめる。
 - ② グループになって分析結果を発表し合う。
 - プリントにグループの意見を記入してまとめる。
 - ③ 各自でレポートを作成する。
 - ④ レポートの清書
 - ②のグループになり、レポートを持ち寄って訂正・加筆を行い清書する。
- #### 3 まとめ
- ① 本時のまとめ
 - 新聞広告は、テキスト・イラスト・図・表・写真など、様々な情報を組み合わせて作られている。
 - 次回、各グループで作成したレポートを発表する。

DX!

DX後（赤字はICT活用場面）

1 導入

- ① **ロイロノートに配布した写真などの資料や、前時に使用したデータを見ながら、新聞広告を分析する観点を整理・復習をする。**
本時の目標を確認する。

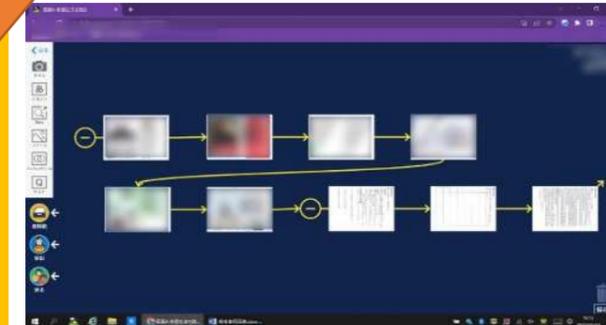
2 展開

めあて 新聞広告に用いられている工夫について考えよう。
学習活動 分析の観点に沿って新聞広告を分析し、気付いたことをグループで共有し、レポートにまとめよう。

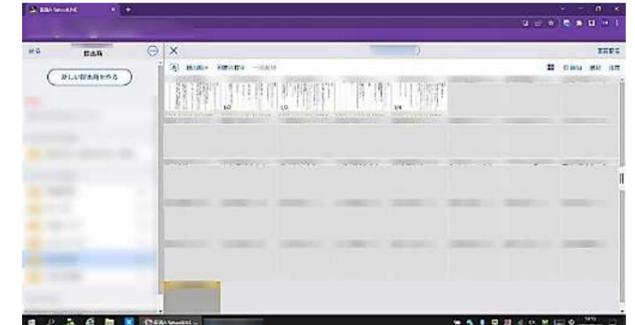
- ① 新聞広告を分析する。
 - **ロイロノートの資料に自分の考えをまとめる。**
- ② **分析結果をまとめた資料をグループのメンバーに送信する。**
 - グループのメンバーの資料に目を通す。
- ③ **ドキュメントでレポートを作成する。**
 - ②で送られてきた資料を自分のものと比較し、グループで話し合いながらレポートを作成する。
- ④ レポートの提出
 - **完成したレポートをデータで提出する。**

3 まとめ

- ① 本時のまとめ
 - 新聞広告は、テキスト・イラスト・図・表・写真など、様々な情報を組み合わせて作られている。
 - 次回、各グループで作成したレポートを発表する。



↑ 広告の画像や課題の資料をまとめて送ることで一目で資料が全て見られるようになります。グループのメンバーから送られてきた資料もグループ内で共有できます。



↑ グループのメンバーごとに提出させることで、誰がどのように分析を行ったかを、教師側も把握できます。未提出の生徒に声をかける行うこともできます。

授業者から（成果・課題・留意点）

- ・資料が一つの画面で完結するため、配布する時間が減るとともに、生徒のプリントの紛失や忘れ物が減った。
- ・グループメンバーとの情報の共有を端末で行うことで、プリントを回したりする必要がなく、スムーズに行われた。
- ・Googleドキュメントで共同編集を行うことで、消したりする手間が少なく、加筆や修正を積極的に行う生徒が多かった。
- ・うまく自分の考えをまとめることができない生徒は、端末上で友達のを参考にしながら進めることができた。
- ・レポートの提出に、Googleクラスルームなど別のアプリを併用したため、提出方法がやや複雑になってしまった。